

## 2020年度を迎えるにあたって

監督 阿部 憲二

新年度を迎えるにあたって、現状のご報告および今年度の抱負、目標ほかを述べさせていただきます。

先ず本題に入る前に、先の2月に永眠されました前川 OB 会長のご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、生前の馬術部へのご尽力とご貢献に対しまして、感謝し尽せない思いをお伝えしたいと思います。これからの馬術部、OB 会の在り方を考え改革を進められていた会長のご意志を関係者全員が引き継いで邁進して行くことが、何よりのご供養と考えています。私も昨年の全日本学生馬術大会（以降、全日学）・馬場馬術競技で団体優勝をして会長を胴上げする約束を果たせなかった悔しさを胸に、全力で諸課題に取り組んで参りたいと存じます。

さて、既に馬術部のホームページのトップにアップしてあるように、本年のチームスローガンは『Steps! To the Victory』と決めました。『勝利に向かって1歩1歩着実に進んで行こう!』という意味のスローガンです。われわれは、全日学で2年連続3種目（障害・馬場・総合）団体総合3位、同じく馬場馬術で個人・団体準優勝とあと1歩のところまでは来ておりますが、まだ優勝は経験していません。コップに落ちる水は、1滴1滴溜まり最後に表面張力を突破して初めて溢れ出ます。われわれも最後の壁を自ら打ち破ってこそ、初めてさらなる高みに立てると 생각합니다。

昨年度的全日学では、細部ながら重要な部分でのマイナスが何点かありました。これこそが今われわれに不足している点だと痛感し、私自身の反省も含め、新年度に向けては改めて計画的な練習への取り組み、馬や馬術全般への幅広い知識と経験の蓄積ができるように、その改善を進めています。

部活動全般については、前監督の吉田教官の方針であった部員の自主性を重んじた運営を引き継いだうえで、必要なルールや運営規範については改めて整備いたしました。

また、平素私が京都にいないので吉田教官に、馬匹・厩舎管理から騎乗技術まで幅広いご指導をお願いしております。篠宮招聘コーチには競技会に合わせて来厩いただき、集中的に全人馬の訓練を実施してもらっています。競技実績と豊富な馬の調教実績・人の指導実績がある同コーチに定期的に指導いただくことで、人馬とも確実にレベルアップしております。昨年度も1回生と入厩1年目の馬が全日学・馬場馬術個人で準優勝を飾るなど即効的な結果も出ており、低回生から競技で活躍できる環境にもあります。宇賀神コーチは、当馬術部 OG で自身の乗馬クラブで現役馬術選手として活躍しており、主に競技会において実践的な指導をしてもらっています。

加えて本年より JRA から競技・指導に実績がある者と、同様に信頼できる獣医師に補助

的に来てもらい、さらなるレベルアップを図っています。

私自身は、試合や合宿等への臨場は当然ですが、山崎部長・松岡副部長と連携を取って大学との交渉や、学馬連・関西学馬連、JRA など関係各所との調整を推進しております。早期に実施できること、継続的に進めなければならないことなど多数の課題がありますが、ひとつひとつ真摯に対応して参ります。その他、新入生のリクルートや馬匹のリサーチなど、目標に向かってマネジメント中心に現在は動いております。

一方、部員との関係においては主将や4回生と連携を密にし、各部員とも積極的にコミュニケーションを取るよう努めております。特に皆には目標の競技会から遡った各担当馬の訓練計画を策定してもらっています。そして提出された計画に、アドバイスをを入れて戻しています。毎日の練習を漫然とこなすことなく、計画的に実行し検証する。さらにそれを活かして練習内容をブラッシュアップさせる。先ずはこのような意識付けができればと思っています。

また、今年から練習中に音楽を流すようにしています。常に音楽を耳に入ることによってリラックスして騎乗できること、毎日音楽とセットで騎乗することで馬場馬術のキュア（自由演技）に柔軟な対応ができることを期待しています。

本年度の新入部員は3月現在、2名が入部予定です。馬匹については、既に馬場馬1頭が2月に入厩しており、同馬は新入部員1名の持ち込み馬になります。その他では、現在、総合馬と障害馬のリサーチを進めておりますが、馬房の関係もあり総合馬を優先したいと考えています。予定どおり補強が整えば、馬場馬6頭（うち新規1頭）、障害馬3頭、総合馬3頭（うち新規1頭）、訓練馬1頭となり、各種目で団体（3頭）が組めます。障害・総合は余裕のない頭数ではありますが、予選をクリアして各種目団体で全日学に出場したいと思います。そして、三種目の団体総合で昨年の3位を上回る成績を目指します。さらに、種目別では馬場馬術団体優勝が1番の目標なので、チーム一丸となって最後の壁をぶち破りたいと思います。個人成績は各自が持てる力を発揮すれば、結果は自ずとついてくると考えています。

執筆している現在（3月中旬）、新型コロナウイルスの影響で国内外の各種イベントやスポーツ競技が中止・延期されており、国内各大学の部活動も制限を受けております。このような状況なので流動的ではありますが、当部では3月23日（月）から今秋、全日学が開催される山梨県馬術競技場に1週間遠征する予定です。遠征中は現地での訓練、総合馬のクロスカントリーコース走行、競技会出場のスケジュールを組んでおり、いよいよ全日学に向けてのスタートを切ります。

その後のスケジュールは、

○5月3日（日）4日（月・祝）5日（火・祝） 全関西学生大会（春）

- 8月8日(土) 9日(日) 10日(月・祝) 全関西学生大会(夏)  
※馬場・障害の全日学予選会  
選手権大会
- 9月5日(土) 6日(日) 全関西学生総合・複合大会 ※総合の全日学予選会
- 9月19日(土) 20日(日) 全関西学生大会(秋)
- 10月29日(木) ~11月3日(火・祝) 全日学(山梨県馬術競技場・小淵沢)

本年は7月24日~8月9日まで2020東京オリンピック・馬術競技が開催されることもあり、例年とは異なる日程でまだ調整中の競技もあります。全日学は、昨年同様、馬場馬術から競技が始まる予定です。

その他、馬術部を取り巻く状況ですが、昨年の台風で飼料やオガ置場が破損し、現在は使用できない状況です。代替えとして馬房をつぶして置場にはしています。その他、乾草置場や馬房・洗場・通路など危険な箇所が散見され厩舎の老朽化はさらに進んでいます。前川会長を先頭にOB会として推進していただいていた厩舎新築事業ほか施設面の改善については、現在、松岡副部長を中心に大学のスポーツ強化センターと縷々打合せを進めております。ただ、厩舎新築については柘野総合グラウンド全体の取扱いに関する問題でもあるので、大学側と摺り合わせを行った後、OB会も交えて全体で話し合う場が持てればと考えております。

加えて、今秋から京都競馬場がスタンド改修工事のため、2年以上にわたり開催が休止されます。馬術部収入の大半を占める競馬場でのアルバイトがなくなることは死活問題です。現在、JRAや大学ほか関係各所と調整を図っておりますが、施設面と併せて喫緊の課題として、OB会とも協議させていただきたいと思っております。

諸々と書きましたが、2020年度は山崎部長、松岡副部長、4月より新たに就任される竹村副部長、吉田教官、篠宮・宇賀神両コーチ、そしてやっと1回生から4回生まで揃った部員たち馬たちと力を合わせて全力で活動して参ります。

OB・OGの皆様、部員のご父母の皆様、大学関係者の皆様ほか多くの方におかれましては、引き続きの幅広いご支援をどうぞよろしくお願いいたします。